

薬連ハイライト

全国会長・幹事長拡大会議 開催される！

平成31年4月23日（火）、グランドプリンスホテル高輪に於いて、第1回全国会長・幹事長拡大会議が開催された。

司会は浜田常任総務。山本会長の挨拶に続いて会場から司会者一任を受けて座長に北海道の竹内伸仁氏を指名した。担当役員より報告事項の報告と協議事項について説明があり、それを受けて活発な質問や要望などがなされ、会場が盛り上がり、選挙モードになっていくのが感じられ、全国会長・幹事長拡大会議は熱気を持って終了となった。

本田あきこ中央後援会「総会」開催される！

平成31年4月23日（火）、本田あきこ中央後援会の総会がグランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」にて午後5時30分より開催された。

本田あきこ中央後援会岩本副会長の司会により、先ず、山本会長から候補者を車のメーカーにたとえたウィットにとんだ挨拶があった。次に、国会議員による激励の言葉を会場への到着順に、松本純衆議

院議員、藤井基之参議院議員、とかしきなおみ衆議院議員、最後に自民党の薬剤師問題議員懇談会会長である伊吹文明衆議院議員より頂いた。

続いて支援団体の登壇者が一人一人紹介され、その後支援団体を代表して日本薬業政治連盟の鹿田広行会長から、本田あきこ氏がアルフレッサに勤務していたことが紹介され、勤務薬剤師としての経験が生かされると激励があり、最後まで気を抜くことなく頑張りましょう！と結ばれた。

多くの激励を受けて、本田あきこ氏より決意表明がなされた。「残り3ヵ月精一杯頑張ります！現場の思いを強い信念を持って発信していきたい！皆様の更なるご支援をよろしくお願いいたします！」と熱い思いが伝えられた。



最後に、企画実行委員会の櫛方委員と小屋敷委員による「本気だ！本田!!」コールが行われ、オレンジ色のうねりとなって残り3ヵ月に向けた総会が閉会となった。

もとゆき便り

人生100年時代の社会保障

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

自民党の厚生労働部会は、「全世代型社会保障ビジョンPT」を設置して、令和の時代に相応しい社会保障のあり方について検討を行い、その結果を取りまとめました。

この中で、社会保障の持続可能性は受益と負担のバランスが重要な要素であり、一定の年齢以上を一律に「高齢者（支えられる側）」とする構造を維持したままでは、財政の持続可能性に影響するのみでなく、多様な働き方改革にも対応できないとしています。また、給付削減が負担拡大という社会保障改革の発想を超えて、リバランスを進めるという発想が求められるとしています。就労の阻害要因を取り除き、「働いても損をしない」仕組みを構築して、経済社会の担い手を増やし、「支える側」と「支えられる側」のバランスを回復することにより、人生100年時代や人口減少社会の到来等の構造変化に対応した、令和の時代に相応しい社会保障改革を、広く国民の理解を得て進めていく必要があるとしています。

その上で令和の時代の改革として、(1) 勤労者皆社会保険 (2) 人生100年型年金制度 (3) 雇用制度

改革 (4) 医療・介護の提供体制改革 (5) 健康づくりの抜本強化 (6) 子育て支援 (7) 厚生労働行政改革の7つを、提言しました。

医療提供に関しては、現在の医療の機能分化・連携の促進や、かかりつけ薬剤師・薬局を推進するとともに、データヘルス基盤を速やかに整備し、医療の質の向上や重複診療・多剤投与・残薬等の削減を進めること。高額薬剤の拡大が医療費増加の要因とも指摘されていることを踏まえ、国民負担の適正化とイノベーションの促進を両立する薬価制度改革を推進すること。セルフメディケーションの推進や小さなりスクは自助とする観点から、OTC医薬品の普及・拡大が一層進むよう、薬事規制から医療保険・税制まで政策全般について本格的な取組を進めること。等を提案しています。

今後党内手続きを進め、政府の取りまとめる、いわゆる「骨太の方針」に盛り込みたいとしています。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp